



## 東北地方太平洋沖地震における 災害ボランティア活動におけるお願い

会員様各位

日本予防医学会の会員の皆様の中で、予防医学指導士としての災害ボランティア活動のご希望がありました。今後も増えることが予想されます。

現時点では未だ情報収集期であり、引き続き、多数の被災者報告・深刻な医療危機報告が、続々と集まっております。未曾有の緊急事態ゆえ、日本予防医学会では、本学会の理事会に案件を諮ることすら、ままならない状況です。

そこで、この緊急事態におきましては、まず会員様の各々の医療人としての活動をお願いいたし、その過程で得られた情報をもとに、予防医学的な医療活動の長期の支援等の検討を考慮したいと思います。

しかしながら、ボランティア医療の参加は余震・放射能等による甚大な二次災害を招く恐れがあります。災害ボランティアの健康管理等を、十分わきまえた上で、必ず、公的機関を通して、派遣要請情報を得てください。

復興には息の長い多大な努力が必要です。ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

なお、本会事務局に是非、情報・意見等をお寄せくださいますよう、合わせてお願い申し上げます。

平成 23 年 3 月 18 日

日本予防医学会事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

公衆衛生学教室内

(担当：荻野景規 公衆衛生学教室 教授)

TEL : 086-235-7184 FAX : 086-226-0715

e-mail : jspm@md.okayama-u.ac.jp

(参考)

●内閣府 (防災担当) 防災ボランティア  
<http://www.bousai-vol.jp/>

●現在の防災ボランティア関係情報  
<http://www.bousai.go.jp/vol/>

●全国社会福祉協議会 ボランティア・市民活動  
<http://www3.shakyo.or.jp/cdvc/volunteer/index.asp>